

群馬の畜産

みんなの情報室

第318号

発行日
平成25年10月29日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 6階/TEL:027-220-2371(代) FAX:027-220-2372
ホームページ: <http://www.chikusankyokai.or.jp>



県畜産共進会(肉豚の部)の様子

目

次

◎ゆとりある安定した畜産経営の確立のために	2	◎本県の獣医医療を担う学生に新たに貸与 獣医師養成修学資金貸与事業	5
◎酪農の生乳生産から加工までを体験 牧場宿泊体験交流	3	◎畜産の専門書が揃う中央畜産会刊行図書の新刊のご案内	6
◎優れた養豚飼養管理技術の成果を競った群馬県畜産共進会(肉豚の部)	3	◎子牛期待育種価情報提供サービスの案内	6
◎第17回群馬県畜産共進会(山羊の部)開催!	4	◎価格安定支援の各事業の実施状況	7
◎平成25年度農場飼養衛生管理強化対策の実施	5	◎行事予定	8

ゆとりある安定した 畜産経営の確立のために

公益社団法人群馬県畜産協会
専務理事 宮川 均



県内の畜産経営の状況は、皆様をご承知のとおり、近代化・大規模化は進んではいるものの、様々な社会情勢の急変による収益性の低下や経営者の高齢化などにより畜産農家戸数の減少傾向に歯止めがかからず、平成25年の県内の畜産農家戸数は1,701戸であり、平成20年と比較すると429戸(約20.1%)が経営を中止している状況となっています。

このような中であっても、将来の畜産に希望をもって就農する若き後継者が存在することも実際であります。その背景はと考えてみますと、①日常管理等の創意工夫により収益を確保する可能性があること、②様々な技術や情報に基づいた経営者の能力や努力により、特色ある経営が可能となるといった希望を持っていること、③良質な動物性タンパク質を消費者に提供する使命と責任をもってのことなどがあるのではないのでしょうか。

今後の畜産経営を維持するためには、家畜の能力を最大限に引き出す飼養衛生管理の工夫や改善に取り組み生産効率のアップを図ることが基本であります。さらに、「作れば売ってくれる」といった感覚ではなく、消費者から求められる畜産物を提供することにより、得意先の確保や流通関係者への働きかけも可能となります。また、農家ではなく経営者であるといった、畜産農家自らの意識改革も必要です。



継承希望者の現地視察対応の様子

視点を変えますが、畜産経営を新たに始めたいという人の情報もあります。県内のA農協では、高齢化のため経営中止をせざるを得ない畜産農家の施設を新規就農希望者に継承する取り組みを始めています。これは、県の補助事業である「ぐんま型シェアミルク推進事業」にて対応しているものですが、北海道浜中町では酪農家への新規就農者支援体制が確立されており、これまでに34組が新規就農していることから、県内の畜産経営において、新規就農の先進事例となるよう、各般に及ぶ協力が必要であります。

このようなことから、本県の畜産経営の維持や新規就農対策のためには、県をはじめ市町村、関係団体等の連携による支援の強化が不可欠であり、畜産経営コンサルを行っている本協会に対しては、「ゆとりある安定した畜産経営」の確立のため、最新の畜産情報に基づく総合的な指導が求められていると考えています。



農林水産省・厚生労働省事業で実施された「新農業人フェア」の様子

■酪農の生乳生産から加工までを体験 牧場宿泊体験交流

去る8月21日(水)から1泊2日の行程で下仁田町にある神津牧場を舞台に、19名の子供たちを含む37名のご家族の参加をいただき、恒例の牧場宿泊体験交流事業を実施しました。

今回のテーマは、酪農を通じて、家畜のライフサイクルを体系的に体験することとし、子牛の世話や哺乳から、搾乳、餌の生産、食品加工と多岐にわたり家族で体験していただきました。

子供たちの印象に強く残ったものの一つ、搾乳体験では、初めて牛の体に直接触れる子供たちも多く、乳頭や乳房に触れ、牛の大きさや温かさを全身で感じていました。中には、ブラッシングを自ら買って出る子供たちもおり、生き物を愛おしむ様子が印象的でした。

また、神津牧場では、飼育するジャージー種の肉を鉄板焼きやカレーとして食べることができるので、家畜がどのように役割を終えるかということ「食べる」ということでも感じていただきました。

今年度は、このほか日帰り日程で11月10日に、酪農家の一日を体験する「畜産のしごと体験－酪農編－」を開催します。



搾乳体験



餌やり体験



ジャージー牛のくん製作



子牛の世話の仕方の説明を受ける参加者

■優れた養豚飼養管理技術の成果を競った 群馬県畜産共進会(肉豚の部)

去る9月24日と26日の2日間、当協会が主催する群馬県畜産共進会(肉豚の部)を、全農ぐんま渋川家畜市場及び群馬県食肉卸売市場で開催しました。

初日の24日は、日本養豚協会常務の小磯氏と群馬県畜産試験場の片野氏をお招きし、初の試みとして、肉豚審査標準を用いた生体評価の研修会を行いました。

生体評価では、共進会の第1部(純粋種)の出品豚6頭(デュロック種)を用いて、種豚と肉豚の両面から個体ごとの違いや特徴を見比べ、種豚として残す際のポイントや肉豚として優れている点などについて説明を受けました。その後、パワーポイントにより種豚登録や最近の育種改良について講義を受けました。

26日には群馬県食肉卸売市場において、第1部から第3部までの出品豚132頭の枝肉による肉豚審査を行いました。

共進会は第1部(純粋種)第2部(一代雑種)第3部(三元雑種)から成り、日本養豚協会が定める肉豚と体審査標準、日本食肉格付協会が定める豚枝肉取引規格を基準として、9名の審査員により審査を行いました。

共進会結果は次のとおりです。

〔第1部〕

名誉賞 前橋市：吉沢重実
 優等賞 前橋市：大島俊典
 1等賞 南牧村：井出達

〔第2部〕

名誉賞 沼田市：角田紀子
 優等賞 昭和村：吉沢和男
 1等賞 前橋市：山崎文雄

〔第3部〕

名誉賞 渋川市：赤城ポーク(小田桐一義、角田正規、(有)R. S. F、星野陽作)
 優等賞 榛東村：(株)オーケーコーポレーション
 前橋市：JA前橋市宮城(黒崎伸一郎、上野実)
 桐生市：(有)森田牧場
 1等賞 板倉町：JA邑楽館林(関口房雄、田沼力)
 前橋市：(有)宮城種豚センター
 吾妻郡：JAあがつま養豚部(株大平牧場、(有)片桐農場、(有)友松ファーム、富澤茂一、山本郁夫)
 沼田市：JA利根沼田養豚部(小野文雄、吉沢和男、角田紀子、柳武)



横室企画管理部長のあいさつ

〔全体講評〕

出品豚の枝肉重量は平均76キロで、平均背脂肪厚2センチ、全体の81.3%(100頭)が枝肉格付け「上」以上という評価となり、品質の高い枝肉生産が行われていることが証明されました。

全体として、肉色が濃く格落ちになってしまったものが多く見られましたが、平均して重量が揃っており、肉付きが良いものも多数ありました。



枝肉による肉豚審査の様子



枝肉による肉豚審査の様子

■第17回群馬県畜産共進会(山羊の部) 開催！

平成25年9月6日に渋川市の渋川家畜市場において、第17回群馬県畜産共進会(山羊の部)が本会主催により開催されました。

審査は(公社)畜産技術協会の審査基準に基づいて行われ、審査委員長を群馬県畜産試験場の小材幸雄場長に務めていただきました。出品された山羊は♀29頭、♂12頭(若齢雄10頭、壮齢雄2頭)の計41頭で、

昨年の30頭に比べかなり増加しており、出品者の方々が日頃から山羊に注いでいる熱意の賜物だと思います。

共進会中は、各々が出品した山羊について、積極的に意見が交わされている光景も見受けられました。

また、共進会後に開催されたオークションには28頭が出品され、県内外を問わず多数の購買者が参加して、自分の好みの山羊を競り落とそうと駆け引きをしていました。

なお、共進会における結果は次のとおりです。

賞名	受賞者	性別	名号
群馬県知事賞	望月 衛 (前橋市)	雄	薫風12-4
(公社)畜産技術協会会長賞	茂木建築 (渋川市)	雌	もぎひめ25-1
(公社)群馬県畜産協会会長賞	望月 衛 (前橋市)	雄	薫風13-1



薫風13-1



もぎひめ25-1



前橋市
望月 衛 氏



渋川市
茂木建築 氏

企画管理部より

■平成25年度農場飼養衛生管理強化対策の実施

本会では今年度より、農場の飼養衛生管理を向上させる取組みを推進するため、民間獣医師等の専門家による衛生指導を受ける生産者を支援する事業を実施しております。

本事業による指導では、衛生指導を希望する生産者に対し、本会で認定した獣医師等指導者を派遣し、飼養衛生管理基準をもとにしたチェックシートを用いて農場の衛生管理について〇×形式でチェックを行い採点します。そこで、できていない箇所や不十分である箇所について獣医師等と相談をしながら、改善を図っていきます。指導は1農場につき2回/年ですので、1回目の指導のときよりも点数が高くなるよう取組むことで飼養衛生管理が向上されるものと考えます。

今年度は初めての取組みとして、中部管内を中心にモデル的な事業の実施を行っております。また、指導と並行して各種疾病対策と合わせた農場衛生管理向上のための研修会、講習会の開催を予定しており、行政や関係機関と一体となった、飼養衛生管理基準の普及と遵守による農場防疫の強化に取り組んでいくこととしています。

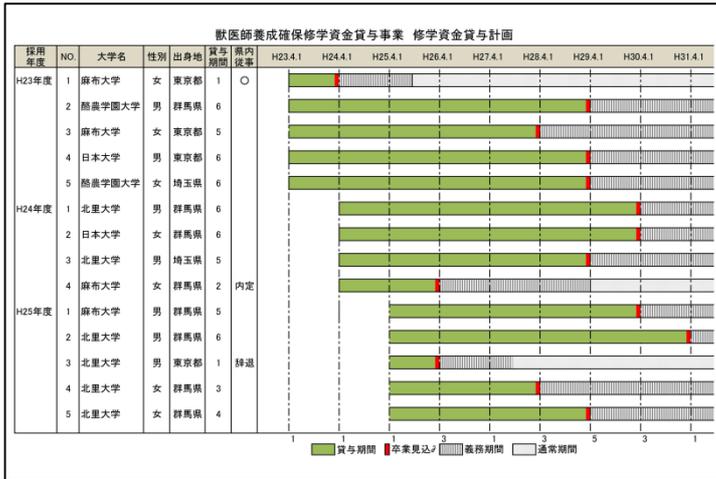
■本県の獣医医療を担う学生に新たに貸与獣医師養成修学資金貸与事業

国の補助事業により実施している「獣医師養成確保修学資金貸与事業」について、今年度、共同負担者(群馬県)からの要望により、新たに5名を獣医修学生修学資金の貸与者として決定しました。

これにより、当協会が事業を開始した平成23年度以降、14名学生が、本県において産業動物獣医師として従事を目指し勉学に励んでいます。

平成29年の春(平成28年度)には、5名の貸与者が卒業を予定しており、もっとも多い獣医修学生が卒業を予定しています。

産業動物獣医師として従事可能な機関や事業所等におかれましては、是非、県内で産業動物獣医師として勤務を希望しているこれら獣医修学生について、採用のご検討をいただきますようお願いいたします。



貸与者の貸付期間と卒業予定時期

本事例集には、今回の大震災を含む過去の自然災害・家畜伝染病等から再生・復興を果たした畜産経営や地域の取り組み、再生・復興の模範となる自立事例のほか、被災地域の畜産経営および地域的な課題の解決に向けて参考となる活動等について、23道県74事例分が収録されています。

事例の活動・取り組みにふれていただき、再生・復興に至るプロセス、円滑な活動の秘訣等を情報入手してほしい。多くの課題を抱える東日本被災地域における畜産復興・地域再生のヒントとして、さらにはわが国の畜産経営が備えるべきリスク管理の一助として、取り巻く状況が厳しい中での今後の畜産経営の生き残り策として、未来に向けて、地域の畜産経営が進むべき「道標」となる情報が満載です。ぜひ、ご一読ください。

▽ご注文は・・・

当協会 企画管理部へご注文ください。

TEL:027-220-2371(代)

■畜産の専門書が揃う中央畜産会刊行図書の新刊のご案内

当協会では、公益社団法人中央畜産会が刊行する図書の販売を行っています。新刊図書が発行されたのでご案内いたします。

○明日への道標

－畜産の復興、再生、そして未来への取り組み－

●中央畜産会・出版物のご案内●

「明日への道標
－畜産の復興、再生、そして未来への取り組み－
 [A4判 288ページ、フルカラー 価格：2,000円(税・送料別)]

東日本大震災とこれに伴う原発事故は、岩手、宮城、福島を中心に東日本の広範な地域で、多くの畜産経営および畜産関連産業に多大な被害・影響をもたらした。今回の大震災を契機として、私たちは日ごろの畜産生産活動と災害の関係を意識するようになったが、過去を振り返れば、わが国の畜産は全国各地で地震、火山噴火、台風、集中豪雨などの自然災害のほか、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜悪性伝染病等の疾病被害にも見舞われてきた。思い起こせば、そういう場面に遭遇しながらも、関係者が一丸となって復興・復旧に取り組み、不死鳥のごとく地域再生を果たしてきた。

本事例集には、今回の大震災を含む過去の自然災害・家畜伝染病等から再生・復興を果たした畜産経営や地域の取り組み、再生・復興の模範となる自立事例のほか、被災地域の畜産経営および地域的な課題の解決に向けて参考となる活動等について、23道県74事例分を収録している。事例の活動・取り組みにふれていただき、再生・復興に至るプロセス、円滑な活動の秘訣等を情報入手してほしい。多くの課題を抱える東日本被災地域における畜産復興・地域再生のヒントとして、さらにはわが国の畜産経営が備えるべきリスク管理の一助として、取り巻く状況が厳しい中での今後の畜産経営の生き残り策として、未来に向けて、地域の畜産経営が進むべき「道標」となる情報を満載している。ぜひ、ご一読いただきたい。

公益社団法人中央畜産会 経営支援部(情報)
 〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-16-2 (第2ディーアインビル9階)
 TEL03-6206-0846 FAX03-5269-0890 E-mail book@jia.jp

畜産振興部より

当協会では、和牛繁殖農家・家畜人工授精師・獣医師・畜産関係団体を対象に、子牛期待育種価情報提供サービスを開始しました。興味のある方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

子牛期待育種価情報提供サービスの案内

お手持ちのパソコン、スマホで

種付前に子牛の期待育種価が把握できる！

利用方法：①種付けをしたい繁殖雌牛の個体識別番号を入力

個体識別番号	登録番号	雌牛名	登録時点	生年月日		
1236397	黒2287177	かくひらひめ21	80	平成19年4月25日		
分娩期間	父	母の父	母の祖父	所有者		
母	444	平茂晴	安平	永弘2		
繁殖雌牛名	枝肉率	ロース芯面積	バラ肉の厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪文様
かくひらひめ21	A	C	B	B	C	C

利用方法：②繁殖雌牛に種付けしたい種雄牛名を入力

種雄牛名	枝肉率	ロース芯面積	バラ肉の厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪文様
種雄牛	菊花園	A	A	C	B	A
	北平安	C	A	A	B	A
	花園安福	A	A	C	C	C
	安福久	C	A	C	A	A
	平茂晴	A	B	C	C	C

利用方法：③生産される子牛の期待育種価が判明

父牛の名	枝肉率	ロース芯面積	バラ肉の厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪文様
子牛	菊花園	A	A	C	B	B
	北平安	C	A	B	B	A
	花園安福	A	B	C	B	C
	安福久	B	A	C	A	A
	平茂晴	A	C	C	C	B

- 利用対象者
- ・群馬県内の肉用牛繁殖農家
 - ・群馬県内で活動する肉用牛繁殖農家支援者(獣医師・授精師・JA等)※
- ※肉用牛繁殖農家支援者は育種価データの利用を農家に了承を得た場合に限る
- 利用料金
- ・肉用牛繁殖農家 2,100円/年
 - ・肉用牛繁殖農家支援者 5,250円/年

問い合わせ先
 群馬県畜産協会 畜産振興部 高橋 TEL:027-220-2360 FAX:027-220-2372

業務部より

価格安定支援の各種事業の実施状況については下記のとおりとなっています。

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)

【事業の実績(平成25年9月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	契約数 (戸)	交付日
平成25年4月	肉専用	-				6/28
	交雑	38,700	1,370	53,019	132	
	乳用	63,900	154	9,841	16	
	計		1,524	62,860	148	
平成25年5月	肉専用	-				7/26
	交雑	33,900	1,101	37,324	115	
	乳用	56,000	359	20,104	15	
	計		1,460	57,428	130	
平成25年6月	肉専用	-				8/26
	交雑	35,200	992	34,918	115	
	乳用	45,700	529	24,175	15	
	計		1,521	59,094	130	
平成25年7月	肉専用	-				9/25
	交雑	65,400	1,156	75,602	119	
	乳用	43,200	485	20,952	17	
	計		1,641	96,554	136	
合計	肉専用		0	0	0	
	交雑		4,619	200,864	481	
	乳用		1,527	75,072	63	
	合計		6,146	275,936	544	

■肉用子牛生産者補給金制度

【事業の実績(平成25年9月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	対象者 (戸)	交付日
平成25年1～3月	他肉専用	33,200	0	0	0	5/31
	乳用	10,600	432	4,579	11	
	計		432	4,579	11	
平成25年4～6月	他肉専用	-	0	0	0	8/30
	乳用	1,700	336	571	12	
	計		336	571	12	
合計	他肉専用		0	0	0	
	乳用		768	5,150	23	
	計		768	5,150	23	

■肉用牛繁殖経営支援事業

【事業の実績(平成25年9月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	対象者 (戸)	交付日
平成25年1～3月	他肉専用	34,500	0	0	0	交付なし
平成25年4～6月	他肉専用	19,500	0	0	0	交付なし

■肉用牛肥育経営緊急支援事業支援金に係る返還状況

【平成25年6月販売分まで】

1 返還状況

販売対象期間 (販売異動等)	請求額 (千円)①	入金額 (千円)②	請求残額 (千円)①-②	返還金残額 (千円)
支援金交付額(191名)				1,946,500
H23.8～H25.6	1,939,800	1,618,600	321,200	327,900

2 請求書発行者数及び入金状況

	請求	うち全額返還	うち一部返還	うち全額未納
発行者数 (人)	191	147	43	1
請求額 (千円)	1,939,800	1,321,550	591,200	27,050
うち入金額 (千円)	1,618,600	1,321,700	296,900	

主 な 行 事 予 定

日付	行事	場所	担当部署
【11月】			
11月01日(金)	養豚基礎セミナー	JA前橋市	企画管理部
11月10日(日)	牧場体験交流	神津牧場	企画管理部
11月11日(月)	理事会	JAビル	企画管理部
11月13日(水)	関東ブラックアンドホワイトショウ	茨城県	畜産振興部
11月18日(月)	SNP事業 推進会議	JAビル	畜産振興部
11月19日(火)	浦和競馬「ぐんま畜産フェア」	埼玉県さいたま市	企画管理部
11月21日(木)	種鶏孵卵協会総会	渋川市	種鶏孵卵協会
11月22日(金)	養豚基礎セミナー	JA前橋市	企画管理部
【12月】			
12月02日(月)	ミートフェスタ 肉牛	食肉卸売市場	畜産振興部

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

群馬で競馬をするなら高崎場外です。高崎場外は旧高崎競馬場跡地を利用した場外馬券売り場です。開催日には高崎駅東口から無料シャトルバスを運行しており、大変便利です。

2013年11月			2013年12月		
1	金	船橋	17	日	
2	土		18	月	浦和
3	日		19	火	浦和 「ぐんま畜産フェア」
4	月	大井	20	水	浦和 浦和記念(JpnII)
5	火	大井	21	木	浦和
6	水	大井 マイルグランプリ(SII)	22	金	浦和
7	木	大井	23	土	
8	金	大井	24	日	大井
9	土		25	月	大井
10	日		26	火	大井
11	月	川崎	27	水	大井 勝島王冠(SIII)
12	火	川崎 ローレル賞(SIII)	28	木	大井
13	水	川崎 ロジータ記念(SI)	29	金	大井
14	木	川崎	30	土	
15	金	川崎			
16	土				
			17	火	川崎
			18	水	川崎 全日本2歳優駿(JpnI)
			19	木	川崎
			20	金	川崎
			21	土	
			22	日	
			23	月	
			24	火	浦和
			25	水	浦和
			26	木	浦和
			27	金	大井
			28	土	大井
			29	日	大井 東京大賞典(GI)
			30	月	大井 東京シンデレラマイル(SIII)
			31	火	大井 東京2歳優駿牝馬(SI)
			16	月	川崎

◆高崎場外馬券場所在地
群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-326-5648



詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

編集後記

今回も「群馬の畜産 みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。ごさいます。

東京・銀座にある群馬県のぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」が大盛況のことです。ぐんまちゃん家は、群馬県のイメージアップのための情報発信・収集拠点として、平成20年7月にオープンし、観光案内や物産販売、イベントを通じて群馬県の魅力をPRしています。

そんなぐんまちゃん家大盛況に貢献しているのが、昨年の「ゆるキャラグランプリ」で3位になったぐんまちゃん人気だそう。そして今年も「ゆるキャラグランプリ2013」が開催中です。今年こそ1位を目指して頑張っていたら、更なる群馬県の知名度アップとともに、群馬の畜産のPRにつながっていきなす。

なお、ゆるキャラグランプリの投票期間は11月8日までです。

(S)